

带状疱疹について

【原因】

带状疱疹は、水痘（水ぼうそう）にかかったことがある人の免疫力が低下した時に、体の中に潜伏している水痘・带状疱疹ウイルスが再活性化することで発症します。

＜带状疱疹の例＞



NEJM 2002

【症状】

- 神経に沿って体の片側に帯状に並んだ皮疹ができます。
- 赤い斑点の上に水ぶくれ（水疱）ができ、水疱の中央部がへこんでおり、ピリピリとした痛みを伴います。（皮疹が悪化・拡大すると右記の写真のようになります）
- 皮疹が出現する前に、痛みや痒みなどの違和感が現れることもあります。
- **治療が遅れると皮疹が全身に広がり、ひどくなる場合があります。**
- 顔面にできた場合は、脳、眼、耳などに合併症を起こす場合があります。
- 皮疹が消えて、带状疱疹が治っても、患部に痛みが残る場合があります（带状疱疹後神経痛）

＜悪化・拡大の例＞



NEJM 2002

※水疱がある場合はウイルス感染の可能性があるので、医師の診察をうけてから軟膏を塗りましょう。

【具体的な対処方法】

- 抗ウイルス剤（アシクロビル）の予防内服を中止した後に発症することが多いですが、まれに内服中に発症する場合があります。
- 带状疱疹が疑われる症状を認めた場合は、早めに医療機関に相談・受診しましょう。

※患者さんの病状や免疫状態、移植をした施設の方針などによって対応が異なりますので、担当医の指示に従って下さい。

- 水痘にかかったことがない他の人は、带状疱疹の患者さんから感染し、水痘にかかる可能性があるため、接触しないように注意しましょう。

ご不明な点はLTFU担当者までお尋ねください。

2021年3月4日

